久屋小だより

～気づき　考え　みんなで創り出すⅢ～　令和５年　７月号

「気づき　考え　みんなで創り出す」㉘

～一事が万事～

自分（たち）のよさをしっかり磨いていくことも，自分（たち）を伸ばしていきます。また，自分（たち）の不足しているところに「変化」をつけていくことも，自分（たち）を伸ばしていきます。

この日の全校朝礼では，「一事が万事」という言葉を取り上げ，自分自身を振り返り，課題を見つけ，改善・解決に向けて考える時間を設けました。

ある日，トイレに行ってみると，スリッパが散乱してました。そのような状態になっていることが複数回ありました。ただ，散乱しているのではなく，履いていたスリッパを蹴るように脱いでいることも想像できました。「トイレのスリッパを正しく脱いで，そろえましょう。」という話ではなく，「一つの乱れは他の乱れにもつながっていく。」ことを全校みんなに問題として投げかけました。まさに「一事が万事」です。自分のこれまでを振り返り，これからの自分を考えました。

○あたりまえにやるべきことができていますか。
○人への言葉づかいはどうですか。
○楽な方へ流されていませんか。
○正しい遊び方ができていますか。
○正しいことをやろうとしている人の気持ちを大事にしていますか。

について一人一人に考えてもらいました。

そして，全校朝礼後には，各学級で私の話を振り返り，今後の自分のくらし方について考える学びの時間を設けました。教師の一方的な指導ではなく，自分のくらしを自分で振り返り，これからのくらし方を考え，実行に移していく経験を積むことが，子どもたちにとっての大事な学びであり，*「気づき　考え　自分でくらしを創る」*ということだと思います。

７月，よりよい締めくくりをめざしていきたいです。

第１回　学校運営協議会

６月３０日（金）に１回目の学校運営協議会を行いました。
議論したことは，**「自信をもって生きる子どもたちを育てるためには」，「全校遠足」**についてです。

「自信をもって生きる子どもたちを育てるためには」・・・親子の**「対話」と「スキンシップ」**を大事にしていきたいことが挙がりました。まもなく夏休みに入ります。長い夏休み，日頃十分にできにくい**家族の「対話」と「スキンシップ」をはじめとした「親子のふれあい」**を各家庭で意識し，取り組んでみていただきたいことを，学校運営協議会より提案させていただきます。
各家庭での取組を通して，子どもたちはきっと，**「プラスの言葉の力」と「コミュニケーションの大切さ」**を実感していくことができると思います。そして，この実感は，人間同士の良好な人間関係の構築につながっていき，**「自信をもって生きる原動力」**になっていくと思います。
夏休みに取り組む各家庭の課題の一つにしてみてください。

「全校遠足」・・・今年度はバス遠足の年です。「『学び』と『遊び』の両面が保障される遠足が実施できるとよいですね。」という意見が出ました。行き先として，「出雲科学館」，「世界こども美術館」，「香木の森」などが挙がりました。遠足のねらいに即しながら，学校で検討していきたいと思います。
学校運営協議会の皆様にも，子どもの危機管理や子どもとの関係づくりの面で，ご参加いただくことになっています。

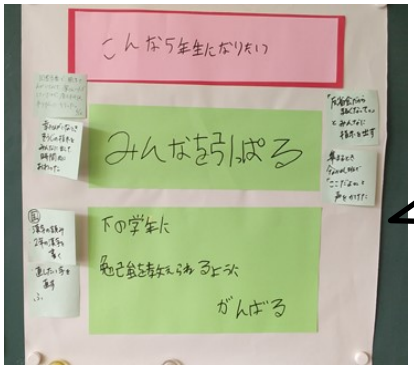
１学期が終わります

まもなく１学期が終了します。多くの「気づき　考え　みんなで創り出す」取組がありました。特別な行事ではなく，日常の中で積み上げることが大事です。そのいくつかを振り返ってみます。

数の大きさとつながりに
いちごとマスを使って気づいています。自分の学び方で数のしくみに気づいています。がんばっていますね。

作りたいもののイメージをしながら，
「色」や「はり方」を自分なりに考え，
こだわって作っていますね。

自分の言葉で自分の考えを伝えています。だから学びが深まりますよね。自分の考えを最後まで書いています。だから自分の考えをはっきりともてますよね。



自分のめあてに価値をつけていくことで，「成長」に気づき，「これからのこと」を考え，「くらしを創っていく」ことができるね。

正しい廊下歩行ができるように，委員会でできることを考えました。委員会活動として見回りをすれば，みんな正しく歩けるようになるかもしれませんね。安全な学校を創るための取組ですね。

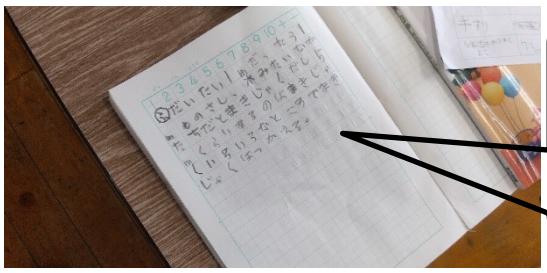
いくつかの情報から，その時間のめあてについて，協働的に結論を導き出す学びですね。友達との対話を通して，学びが深まります。

栽培活動の中で，うまくいかないことがあれば，みんなで考えながらミニトマトを育てていこう。それがみんなで創る学びです。

ひらがなの学習と学校探検で見つけたものを結び付けて発表しています。学びを結びつけることで，学びに価値が生まれます。１年生は意欲的に発表したり，質問したりして，学びを深めていました。

町には多くの方が働いておられますね。その様子に気づくことは，支えの中で自分のくらしが成り立っていることへの気づき，町の一員として，どうくらしていくのかを考えることにつながります。みんなでくらしを創るための大切な学びです。

問題場面を絵と立式からとらえることで，「たし算」「ひき算」の場面としくみを正しく理解していくことができますね。この見方は，これからのかけ算やわり算の学習にも生かされていきます。



自分の考えを「書ききる」ことは大切です。書ききることで，自分の考えが整理され，いっそう深められていきます。みんなで伝え合う時の資料にもなります。

５・６年生が生活目標をつくりました。
「自分に責任をもつこと」とても大切です。
言葉や行動に責任がもてれば，
きっと，みんなにとってくらしやすい
久屋小学校ができると思います。
実践しましょう！！

気づき　考え　みんなで創り出す
図工の授業について，
先生たちは考えています。

挙げればきりがありません。まだまだあります。１学期，子どもたちも職員もみんながんばりました。

間もなく夏休み！！
子どもたちが元気で安全に過ごせるよう
家庭・地域での見守りをよろしくお願します。